

嵐山町立小中学校再編基本計画説明会 実施報告

令和5年12月

嵐山町教育委員会 教育総務課

○日程

1. 令和5年12月12日(火) 午後7時 ふれあい交流センター
2. 12月14日(木) 午後7時 北部交流センター
3. 12月17日(日) 午後2時 嵐山町役場町民ホール

○出席者(日程1. 2.)

- ・教育委員会 下村教育長、教育総務課長、教育総務課職員 6人
- ・嵐山町関係課 総務課長、地域支援課長、福祉課長、まちづくり整備課長
まちづくり整備課副参事、生涯学習課長(6人)

(日程3.)

- ・嵐山町関係課 総務課長、福祉課長、生涯学習課長、
まちづくり整備課副参事

○次第(全日程共通)

1. 開会
2. 教育長あいさつ
3. 嵐山町立小中学校再編基本計画の説明
4. 質疑応答
5. 閉会

○参加人数

1. ふれあい交流センター(12月12日実施)

参加者数 8人

学校区	菅谷小	6	七郷小	0	志賀小	2	町外	0
区分	未就学児	2	小学	2	中学	0	一般	5

2. 北部交流センター(12月14日実施)

参加者数 18人

学校区	菅谷小	1	七郷小	15	志賀小	1	町外	1
区分	未就学児	0	小学	4	中学	0	一般	14

3. 町民ホール(12月17日実施)

参加者数 17人

学校区	菅谷小	10	七郷小	4	志賀小	3	町外	0
区分	未就学児	4	小学	3	中学	0	一般	11

○質疑応答内容

- | | |
|--------------|------|
| ・ふれあい交流センター分 | 3ページ |
| ・北部交流センター分 | 5ページ |
| ・町民ホール分 | 9ページ |

○アンケート内容

- | | |
|--------------|-------|
| ・ふれあい交流センター分 | 15ページ |
| ・北部交流センター分 | 16ページ |
| ・町民ホール分 | 17ページ |

○質疑応答の内容

1. ふれあい交流センター(12月12日実施)

Q. スクールバスについて、現段階で決まっていることがあれば教えていただきたい。

A. まだ具体的には決まっておりません。対象地域については、保護者・地域・行政で統合準備委員会において、ご意見をいただきながら進めていきたいと考えております。なお、令和11年度の子供の数をもとに、停留所の数や場所、通行ルート、停留所から家までの安全なルートなど、様々なシミュレーションは行っています。スクールバスの範囲は無限に広げることは出来ないため、シミュレーションをしながら妥当な範囲を見出し、統合準備委員会において検討していきたいと考えております。

Q. 今後引っ越してくる子供の数は把握できるのか。七郷地区以外の地区で小学校へ入学する際、子供が少なく通学班の編成ができない事案が発生する可能性がある。これらに対する検討は行っているか。

A. 引っ越してくる子供の数を見込むことはできず、国の人口推計をもとに算出しております。通学班において引っ越してきた子供の対応については考えられておりません。様々な事情で通学班の集まる場所に来られない子供は、保護者が何らかの形で連れてきている状況があり、現状の課題であります。こうした子供たちへの支援は行政だけでは難しいと捉えており、地域や保護者の協力を得ながら進めていきたいと考えております。

Q. 建設工事中、菅谷小学校へ通う子供たちはどこの校舎で勉強することになるのか。

A. 令和10年度までは現在の校舎を使用し、校舎が完成したら引っ越しをして、令和11年度より新校舎を使用します。その後、現在の校舎を解体し、グラウンド及び駐車場を整備します。中学校敷地については新たな建設工事はありません。小学校及び中学校ともに現在の校舎で勉強しながら工事が進んでいくこととなりますが、学校、子供、教師の安全を第一に考え進めていきます。騒音等についても教育活動への影響は最小限に抑えられるよう作業工程等を

考え、工事車両と子供たちの出入り口などのエリアを完全に分けるなどの対策を行い進めていきたいと考えております。

Q. 七郷小学校・志賀小学校・玉ノ岡中学校は、令和11年度までは使用されるのか。

A. 令和10年度まで使用され、令和11年度からは新しい学校となります。

Q. 交流会とは具体的にどのようなものか教えていただきたい。統合により突然人数が多くなることが不安で心配である。

A. 現在は七郷小と志賀小が合同で農業体験を行い、また、修学旅行は小学校3校が一緒に行っています。統合が近くなれば、行事を同じ時期に行い、お互いの学校に行き来する機会を設けていきます。子供たちが事前に慣れていくように、円滑な統合に向けて計画的に行っていきたいと考えています。また、行事だけではなく、授業についても一緒に行っていけるよう検討していきます。

2. 北部交流センター(12月14日実施)

Q. 電動アシスト付き自転車支援は必要なのか。スクールバスで賄えるのではないのか。

A. 電動アシスト付き自転車補助制度は、統合後に遠距離通学になる中学生が電動アシスト付き自転車を購入した場合を想定しています。スクールバスを利用しない中学生で、遠距離通学となる生徒が自転車通学する場合に、希望する方へ補助を行っていきたいと思います。なお、遠距離通学における距離などの条件等は今後検討していきます。

Q. 子供たちの声はどのように把握していくのか。

A. 現在、広報らんざんにおいて、児童生徒を対象に学校について何でも言いたいことを言ってもらうコーナーを設けています。また、タブレットを用いての意見集約やアンケートを実施していきたいと考えています。

Q. 自転車通学の範囲が広がるということは、これに伴い計画的に道路整備の予算もついていくのか。

A. 通学路の整備は計画的に行っていますが、現段階では通学路が決まらなると整備する具体的な箇所が見えてこない状況です。今後、統合準備委員会を立ちあげ、学校・保護者・地域の方々の委員さんと、スクールバスのルートや通学路の詳細を検討し、危険箇所等整備が必要なところは、まちづくりと合わせて整備していきたいと考えています。

Q. 町道に歩道橋を設置する計画はないのか。

A. 歩道橋を整備する予定はありません。学校やグラウンドの配置から、中学生が町道を横断することが予想されますが、中には部活動等で道路を渡っている所もあります。また、子供の発達段階を考えたときに、小学生の安全を担保するためにこのような配置となりました。

Q. A案の事業費59.9億円は今後増加することはありえるのか。

A. 町の財政計画におきましては、この金額で計画をしておりますので、これを超えることのないように事業を進めていきたいと考えています。

Q. スクールバスの具体策の検討はいつまでに終了させる予定か。

A. スクールバスの業者やルート、予算や試運転の実施を考えると、来年度から検討を始めないと間に合わない状況です。来年度は統合準備委員会を立ち上げ、教育課程や行事、制服、交流機会などを検討していきますが、これと並行して最優先にスクールバスと通学路の検討を進めていきます。

Q. スクールバスについてどこまで保護者の意見を反映させるのか。

A. スクールバスの検討については、来年度に統合準備委員会を立ち上げ、保護者、地域のご意見を取り入れながら検討を進めていきたいと考えています。

Q. 案が計画になったことを町民は気づいていない。この計画で決まりなのか。説明不足なのではないか。

A. 基本計画の説明会は、地域の方を対象に3回、保護者の方を対象に3回の合計6回行う予定です。それぞれの説明会において、再編について不明・不安なところをしっかりと説明をさせていただき、ご理解をいただきたいと思います。説明不足にならないよう、地域へ足を運んで説明していきたいと思えます。

Q. 町の財政はひっ迫している。到底この計画通りにはいかないと思うがどうか。

A. 財政計画のもと、無理がない範囲で進めていきたいと思えます。今後の説明会においても計画について丁寧に説明をし、ご理解を得ていきたいと思えます。

Q. 統合後の七郷小学校、志賀小学校、玉ノ岡中学校はどうなるのか。

A. 跡地利用につきましては、現段階ではまだ何も決まっておきませんが、町のプロジェクトチームで検討を行っているところです。今後どのように活用していくのか、町民の皆さんからもアイデアをいただきながら考えていきたいと思ひます。

Q. パブリックコメントの回答が期待通りの回答ではなかつた。もっとしっかり読んで考えるべきではないか。

A. パブリックコメントにつきましては、皆さんからいただいたご意見等をよく読ませていただき、計画に反映させるものと今後参考にさせていただくもの等を精査し、ご回答させていただきました。教育委員会として、皆さんのご意見をしっかり受け止めて進めていきたいと思ひます。

Q. 学校統合と七郷小学校を残すこと、これらを並行して進めるということではできないのか。七郷小を残すことは町の活性化に繋がると思ひう。

A. 統合は、町の活性化のためではなく、今の子供たちの教育環境を最優先に考え、子供たちのために行うものです。この計画が策定されるまでには、審議会において保護者や地域の方が1年以上かけて審議を行ってきた過程を踏まえているということをご理解いただきたいと思ひています。ご意見は教育委員会として受けとめたいと思ひます。

Q. 気が付いたら案が計画になっていた。学校統合について周知ができていない。

A. できるだけ多くの機会を設けて、多くの方へ説明させていただけるよう、方法を考えながら進めていきたいと思ひます。

Q. 小中一貫教育について、もっと丁寧な説明が必要と思ひうがいかがか。

A. 町ホームページやSNSなども使い、丁寧に説明していきたいと思ひます。

3. 町民ホール(12月17日実施)

Q. 今回の計画は案が作成される前に、少なくとも北部地区の区長や住民を集めて意見を聞くべきであったが、そのような機会が全くなかった。

A. 本計画は審議会におきまして、地域の方々にも長きに渡り真剣に審議いただき、町として、教育委員会として、それらを最大限尊重して基本計画(案)を作成し、この度基本計画を策定させていただいたものです。また、区長会におきましても、教育委員会より進捗状況を説明させていただき、意見を伺いながら進めてまいりました。

Q. 事業費がとても高額であるが、これから先、跡地のことや、福祉、少子高齢化などで町の負担は大きくなる。町の財政は大丈夫なのか。

A. (総務課長回答)

財政担当では総事業費を60億円と想定し、国から半分補助が出ますので、30億円を町が負担します。ただし、令和4年と今年度に、合わせて4億円の建設基金を積み立てましたので、町が負担するのは残りの26億円となります。起債をして30年で返済(建物が鉄筋コンクリート内装木質化の場合)する計画ですが、返済額を年間1億円とした場合、22%(2,200万円)は交付税で戻ってきますので、実質町の負担は7,800万円となります。積み立てる2億円の内から7,800万円返済していけば良いので、返済は可能と考えています。また、今後10年間のシミュレーションにおきましては、人口減や高齢者増により町の負担は大きくなりますが、インターランプ内建設や花見台工業団地拡張による固定資産税の増額が見込まれることから、税収はそれ以上に増えることが見込まれています。

Q. 本計画は教育論についての説明がないまま、建物のことばかり先に進めているように思う。目指す児童生徒像・学校像はどここの学校にも当てはまるため、嵐山町の教育的な部分を入れた方がよいと思うがいかがか。

A. 義務教育の性質上、どこにも当てはまるような内容にはなりますが、各学校で特色ある学校づくりをしていく必要があると思います。嵐山町では、小中の滑らかな接続における小学生の専門性のある教育について、小中連携と一貫教育の研究を続けてきました。義務教育学校の方が滑らかであるが、嵐山町では小学6年生を学校の

リーダーとして活躍する場をつくることによって、成長することができると思っています。小・中を区切り、子供たちに十分な教育を行うことが、嵐山町の特色であると考えています。

Q. 遠距離通学支援は電動アシスト付き自転車購入補助ではなく、もっと具体的に検討して良い方法を提示していかなければならないのではないかと。

A. 学校統合をしても、中学生がスクールバスに乗って通学しているところは全国的に少ない状況です。町外の例では、自転車の校則を緩和した際に、電動アシスト付き自転車で通学する生徒が増えましたが、何ら問題はありませんでした。その例では、補助制度はありませんでしたが、特に遠くから通学する子供たちが、補助を希望する場合、嵐山町では補助を実施していきたいと考えています。

Q. 徒歩・自転車通学となる通学路の点検整備をしっかりと行っていただきたい。

A. 通学路の安全点検やルートについては、統合準備委員会で検討し、町全体で交通安全について考え対応していきます。

Q. 基本計画(案)を作成する過程で、子供たちに意見は聞いたのか。

A. 今回の計画は学校の位置や開校年度に関する内容ですので、直接子供たちへ聞くという事はしておりません。今後、子供たちに直接関わる教育内容などにつきましては、子供たちの声を十分に把握して進めてまいります。

Q. 説明会は学校単位で行うべきなのではないかと。

A. 今後は学校とも検討していく事項が増えていくので、学校単位でも説明会を実施していくことを検討していきます。

Q. 学校再編することについては急ぐことなく、もう一度具体的に、丁寧な協議が必要なのではないかと。

A. 審議会より、早い段階で子供の教育環境を整えることと提言をいただき事業を進めております。

Q. 率直にいつて教育委員会の進め方は強引である。新校は菅谷の地に建てる腹案があったと捉えているがどうか。

A. この計画は、審議会におきまして様々な検討がなされ、地域の皆さんの声を聞きながら進めてきたものです。

Q. 事業費60億円は菅谷に新校を建設する費用である。今後、高齢者の窓口負担の増額や、給食費完全無償化を行うことになれば、それらに関する事で町の財政計画に影響が出てくる。これらの影響を踏まえ、本計画は案のままでもっと議論するべきである。

A. 高齢者の窓口負担や給食費無償化等については、現在国においても議論がされていると承知しています。今後国の動向を見ながら、計画は進めていくものと考えております。

Q. 廃校後の学校はどうなるのか。解体するのか。補強して他の方法で使用するのか。

A. 跡地利用に関する事は、今後住民の皆様の意見を聞きながら、町のプロジェクトチームで検討を進めていきます。

Q. 本計画は、審議会からの答申がポイントとなっているが、審議会では七郷小学校を残すことや、玉ノ岡中学校に先行統合することなどの意見も出た。このような少数意見も判断材料となるので、町民に明らかにするべきではないか。

A. 全10回開催した審議会の会議録は、町ホームページに掲載させていただいております。また、区長会におきましても、審議会の進捗状況等をご説明させていただきながら進めてきたものです。

Q. 学校配置は元々、4つの案在りきだったのではないか。七郷小学校や玉ノ岡中学校を残す時の費用対効果などは想定したのか。

A. 審議会の時に委員さんから、たたき台があった方が議論を進めやすいという要望がありましたので、その際は事務局から配置パターンや各小中学校にかかっている修繕費などの経費をお示しさせていただき、それらを材料に議論をしていただいた経緯があります。

が、基本計画でご説明している4案につきましては、審議会からの答申に基づいて、教育委員会で検討した案になります。

Q. 現在算出されている事業費には、跡地に関することや、解体工事の費用等は含まれていない。これらも踏まえ総合的に判断して決めるべきではないか。

A. 跡地に関する費用は学校建設とは別にかかりますが、どのような利用方法にするかで、かかる費用は変わってきますので、跡地に関することは今後町のプロジェクトチームで検討を行って決めていきたいと考えています。また、教育委員会としては、跡地利用のことを考えてからではなく、学校統廃合をした後に、跡地利用は町全体のものとして検討をしていくものと考えています。

Q. 来年度から基本設計が始まるスケジュールだが、行政が進むべき方向で、すでに委託業務が進んでいるのではないか。

A. 現在は、計画を作成するにあたり必要な試算などを業務委託しており、進めております。町民の皆さんへ概算の事業費などをご説明させていただくにあたりまして、根拠がないものをお示しするわけにはいきませんので、業務委託の成果を根拠としてご説明させていただいております。その先のことにつきまして、まだ決まっているものはありません。

Q. パブリックコメントを見ることができる町民がどれくらいいるかわからないが、今日出た意見等を町民へ周知し、これからどうするか聞く予定はあるのか。

A. パブリックコメントは閲覧用として、町内の各公共施設に置かせていただいております。また、説明会で出たご意見や質疑応答などの概要につきましては、報告書として町ホームページに掲載させていただいており、今回の説明会につきましても報告書を作成次第、町ホームページに掲載いたします。

Q. 子供の安全・安心を守るために早期に建て替えが必要なのはわかるが、それは行政が、町民や児童生徒の目線に立って物事を見ずに、今まで手を抜いてきたからこうなっているのではないか。反省点はないのか。

A. 学校の大規模修繕等がなされていなかったことを反省しております。

す。今後はこの反省を生かして対応していきたいと考えております。

Q. 新しい学校は、小学校で1校、中学校で1校か。

A. はい。小学校と中学校が独立し、校舎は隣接しているイメージとなります。

Q. 菅谷小学校は雨漏りのため、教室を移動した。新校が開校するまでの間、他の教室が心配である。

A. 雨漏りの根本的な原因である屋上防水の工事を行うことができないため、既存の特別教室を普通教室として活用することとしました。今後も修繕については対応していきます。保護者の皆さんには不安なところがあるとは思いますが、ご理解くださいますようお願いいたします。

Q. 通学距離が遠くなると、親の仕事の都合などにより、スクールバスではなく親が送迎したい方も中にはいると思う。駐車場やスクールバスの乗降場所、学校周辺の道路の拡張整備はされるのか。

A. 送迎についてはそのような希望もあるかと思しますので、可能とする方向で検討していきます。また、駐車場については、現菅谷中学校の位置に整備し、スクールバスロータリーは現菅谷小学校側に整備する予定です。学校付近の道路整備については、町の道路担当と協議し行っていきます。

Q. 審議会では、菅谷中学校を玉ノ岡中学校へ先行統合するという審議がされたが、必要経費の算出もされぬまま、いつの間にか先行統合という話がなくなったのはなぜなのか。

A. 審議会からいただいた答申は、小学校3校を1校に、中学校2校を1校に統合することと、統合する場所についての内容でありました。それらを審議いただく道筋の中に、先行統合という考え方があったものと認識しております。教育委員会では、答申にもとづき、この4案について検討を行ったものです。

Q. 委託業者が出した評価では、菅谷中学校は長寿命化改修が可能ということで

あつたはずだが、なぜそうしなかったのか。

A. 長寿命化改修は、教育委員会で検討した4案のうち、D案において検討しました。そのD案も含め、それぞれの案をさまざまな項目で比較検討した結果、D案は仮設校舎建設などにより経費が大きくなるという結果となりました。したがって、長寿命化改修につきましては、教育委員会におきまして十分な検討がなされたものと認識しております。

Q. 審議会において、小学校と中学校の活動エリアは分け、一体型にはしないという集中審議を行った。基本計画にも併設型小学校・中学校とある。しかし、コンサルが作成した資料は一体型の図面となっている。

A. 建設費の比較をするためにコンサルへ依頼し、コンサルが参考として出してきた図面であるため、この図面に何か深い意味があるものではありません。小中が独立した施設として隣接し、共通して使える部分は共有できる機能を持った施設にしたいと考えています。

Q. 今後、通学路の問題など、山積する問題を解決しながら、様々なことを同時並行で行っていくことになる。統合準備委員会のメンバーや進め方などについて、工程表を作成し、町としてどのように進めていくのか示していただきたい。

A. 工程表については、現段階では明確にお伝え出来ませんが、統合を見据えたうえで、工程や進捗状況を皆さんへお示ししていきたいと思っております。

○アンケート回答

ふれあい交流センター 1件 (12/12)

番号	区分	アンケート内容
1	保護者 (小)	<ul style="list-style-type: none">● 今回、参加させていただいて、明確な計画を把握することができました。このような説明会を開いていただけるのは、とても理解が深まるので、保護者が参加しやすい時間帯に開催して頂けると助かります。● 例えば、平日子供が学校に行っている間に開催して頂けると、参加する方も仕事の調整や家庭の調整がしやすく、参加しやすいと思うので、開催していただけると助かります。

北部交流センター 2件 (12/14)

番号	区分	アンケート内容
1	保護者以外 (町内在住)	<ul style="list-style-type: none"> ● 町の計画内容が分かって良かったと思います。
2	保護者 (小)	<ul style="list-style-type: none"> ● スクールバスの対象地域は、七郷小は小学生も中学生も全対象にしてほしいです。玉ノ岡中はまだ使えるのに、菅谷の遠い所までわざわざ行かなくてはならなくなってしまう。子供たちを一番に考えていると言っていました、それなら七郷や志賀の遠くから来る子供たちの対応を良くしてほしいと思います。 ● 以前の町民の方の意見が 3 つしか考えられていないのはどうかと思います。もっと改善されていると思いました。残念です。 ● 菅谷の地域だけが優遇されているなどと思いました。 ● 委員会で話し合っていると言うが、七郷地区と他の地区で多数決では意味がないと思いました。
3	保護者以外 (町内在住)	<ul style="list-style-type: none"> ● 予備知識もなく出席した為、ハード部分の老朽化と、少子化の程度の予測には考え込まざるを得ません。 ● 最速少子化を止めるのは困難であるとしたら、統合は必然となる時、教育全体(小中学)が費用対効果の観点から考えるばかりでなく、一教育は時間と手間(費用)が掛かると考えるから、画一化を避けられる方向へ進んでいただきたいです。「答申」では触れ方が不明。

町民ホール 5件 (12/17)

番号	区分	アンケート内容
1	保護者以外 (町内在住)	<ul style="list-style-type: none"> ● 現菅谷中学校「武道場」は、老朽化著しく、また、防災・耐震等の観点からも、建て替えが必要と思われる。この点を考慮してほしい。(本来なら、菅中体育館の新築時に実施すべきであったと思う) ● 現在の菅小・菅中の間の「町道」往来について、児童生徒の安全確保に務めてほしい。 ● 若者世帯の転入促進を図るべき。 ● 「教育論に関する質問」に対しての、教育長の答弁は、経験に裏打ちされた良い内容であったと思います。
2	保護者 (幼・小)	<ul style="list-style-type: none"> ● 小学1年生～中学3年生まで同じ敷地で過ごすことになるので、治安や安全面が心配なので、そこら辺の区別をしっかりとしてほしい。 ● 小学校は雨漏りしていたり、かなり老朽化が進んでいるので、もっと早く計画を進めてもらえるといいなと思う。(難しいとは思いますが…) ● 高学年になってから統合することになる子たちのケアもしっかりしてほしい。 ● 説明会だということから来たのに、討論会のようになっていて、あまり来た意味が感じられなかったから、次は保護者限定等にして中身のある話を聞きたい。
3	保護者 (未就学)	<ul style="list-style-type: none"> ● 限られた時間の中で、色々ご調整頂きお疲れ様です。 ● 各々の意見が有る様ですが、保育園児たちは楽しみにしています。(保護者も、共に…) ● 当面の間、大変かと思いますが、よろしく願い申し上げます。
4	保護者 (幼保)	<ul style="list-style-type: none"> ● スクールバスは出来るだけ広い地域で利用できると良いと思いました。(志賀も希望) ● 工事中は子供たちの安全を第一に進めてくださると良いと思います。本日はありがとうございました。 ● 沢山の意見が有るとは感じていますが、計画を進めるのであれば、1日も早く取り掛かってくれた方が保護者としては方向性が決められるのでよろしくお願いします。(この説明会では保護者の意見や質問をするのは厳しいと思います。)
5	保護者以外 (町内在住)	<ul style="list-style-type: none"> ● 質問に対しての答えが、前回と同じことを繰り返されるのみ。もっと誠実に取り組んでほしい。的外れの課長の対応は、説明会をやったという既成事実のみとしか思えない。 ● 今日の参加者は少人数でしたが、意見は多く出されました。単なる説明会での意見にしないで、検討してほしい。

		● 今回の進め方だと、町政の信頼が揺るぎかねない。
--	--	---------------------------